



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 マツダ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7261 URL <http://www.mazda.com/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸本 明
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 経理部長 (氏名) 竹多 政博 (TEL) 082-282-1111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,729,088	4.4	30,872	△59.6	54,521	△43.5	24,377	△61.5
2018年3月期第2四半期	1,656,627	7.1	76,480	△13.4	96,465	16.8	63,338	12.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 27,458百万円(△61.2%) 2018年3月期第2四半期 70,742百万円(129.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	38.71	38.70
2018年3月期第2四半期	105.95	105.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,744,805	1,233,791	43.9
2018年3月期	2,724,092	1,219,470	43.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,204,592百万円 2018年3月期 1,192,925百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2019年3月期	—	15.00			
2019年3月期(予想)			—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,530,000	1.6	70,000	△52.2	100,000	△41.9	50,000	△55.4
								79.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	631,803,979株	2018年3月期	631,803,979株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,043,258株	2018年3月期	2,057,633株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	629,755,903株	2018年3月期2Q	597,817,677株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	14

※ 参考資料 2019年3月期 第2四半期 決算参考資料 (連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「構造改革ステージ2」（2017年3月期～2019年3月期）の下、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を両立する魅力ある商品をお届けするとともに、全領域でビジネスの質的成長を目指し、ブランド価値のさらなる向上に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結会計期間においては、「マツダ デミオ（海外名：Mazda2）」の商品改良モデルを導入しました。今回の商品改良では、ガソリンエンジンの「SKYACTIV-G」搭載車に新技術を導入するとともに、排気量を1.3Lから1.5Lに拡大し、市街地から高速道路など、日常の様々な走行シーンで「ゆとりのあるスムーズな走り」の実現を目指しました。また、排気量の拡大は、エンジン効率の良い領域を有効に使用できることから、実用領域における燃費の向上にも貢献しています。

[グローバル販売]

当第2四半期連結累計期間のグローバル販売台数は、「マツダ CX-5」や「マツダ CX-8」等のクロスオーバー系車種の販売が好調を維持したことに加え、商品改良モデルの投入効果により、前年同期比1.7%増の796千台となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の販売台数となりました。市場別では、日本及びタイやベトナムなどのASEAN市場が台数成長に大きく寄与しております。

市場別の販売台数は、次のとおりです。

<日本>

導入以来好調な販売が続く「CX-8」の台数貢献に加え、「CX-5」も前年同水準の高い販売台数を維持したことから、前年同期比6.7%増の103千台となりました。

<北米>

米国は、セダン系車種の販売環境に厳しさがみられたものの、全てのクロスオーバー系車種で販売が好調であったことから、前年同期と同水準の151千台となりました。北米全体では、カナダやメキシコで台数が増加したことにより、前年同期比1.6%増の222千台となりました。

<欧州>

ドイツで販売が減少したものの、ロシアの販売台数は需要の伸びを上回る大幅な増加となったほか、スペインなどにおいても前年を上回る販売となったことから、前年同期比2.4%増の135千台となりました。車種別では「CX-5」の販売が好調に推移しております。

<中国>

需要の減速にともなう販売環境の悪化により、「Mazda3」をはじめとした主要車種の販売が減少したことから、前年同期比10.6%減の133千台となりました。

<その他の市場>

主要市場のオーストラリアでは、前年同期比5.2%減の56千台となりましたが、「CX-5」は好調な販売を維持しており、新たに導入した「CX-8」も順調な立ち上がりとなっております。一方、ASEAN市場では、タイやベトナムで販売が増加したほか、その他の地域においても、チリで過去最高の販売を記録するなど、その他の市場全体では、前年同期比8.5%増の202千台となりました。

〔経営成績〕

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、出荷台数の増加や車種構成の改善等により、1兆7,291億円(前年同期比725億円増、4.4%増)となりました。営業利益は、出荷台数の増加やコスト改善活動の効果の一方で、競合激化による販売費用の増加や為替影響、品質関連費用の計上などにより、309億円(前年同期比456億円減、59.6%減)、経常利益は、持分法による投資利益192億円を計上したことから545億円(前年同期比419億円減、43.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用238億円等により、244億円(前年同期比390億円減、61.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

日本は売上高が1兆3,436億円(前年同期比201億円減、1.5%減)、セグメント別営業損失は200億円(前年同期比706億円減)となりました。北米は売上高が6,947億円(前年同期比86億円増、1.3%増)、セグメント別営業利益は229億円(前年同期比102億円増、80.2%増)、欧州は売上高が3,431億円(前年同期比24億円増、0.7%増)、セグメント別営業利益は61億円(前年同期比25億円増、68.4%増)、その他の地域は売上高が3,488億円(前年同期比347億円増、11.0%増)、セグメント別営業利益は121億円(前年同期比9億円増、8.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より207億円増加し、2兆7,448億円となり、負債合計は、前連結会計年度末より64億円増加し、1兆5,110億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末より610億円増加し、5,589億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益244億円に対し、配当金の支払126億円等により、前連結会計年度末より143億円増加し、1兆2,338億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.1ポイント増加し、43.9%(劣後特約付ローンの資本性考慮後45.2%)となりました。

なお、「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、資産、負債及び純資産の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末において、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より694億円増加の6,743億円、有利子負債は、前連結会計年度末より610億円増加の5,589億円となり、この結果、1,154億円のネット・キャッシュ・ポジションとなっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益500億円やたな卸資産の減少に対し、法人税等の支払等により、607億円の増加(前年同期は892億円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出449億円等により、395億円の減少(前年同期は555億円の減少)となりました。

以上により、連結フリー・キャッシュ・フロー(営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計)は、212億円の増加(前年同期は337億円の増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等を目的とした長期借入金の調達に対し、配当金の支払等により、418億円の増加(前年同期は124億円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月豪雨により、当初計画から生産台数は、車両が44千台、海外生産用部品は23千台の減少となりましたが、当第2四半期連結累計期間における連結出荷台数への影響は、グループ内の在庫を活用することで22千台の減少にとどまりました。

通期の連結出荷台数への影響は、在庫の活用や増産などにより、上記の影響と同等レベルになる見通しです。引き続き、豪雨影響の最小化に向けて取り組んでまいります。

なお、上記を踏まえ、平成30年8月1日に公表しました業績予想を下記の通り修正しました。詳細につきましては、本日(2018年10月31日)公表しました「2019年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

連結業績及びグローバル販売台数の見通し(2018年4月1日～2019年3月31日)

連結業績		(単位：億円)		グローバル販売台数		(単位：千台)	
		通期	前期比			通期	前期比
売上高		35,300	1.6%	日 本		216	2.9%
営業利益		700	△52.2%	北 米		434	△0.3%
経常利益		1,000	△41.9%	欧 州		270	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益		500	△55.4%	中 国		294	△8.8%
為替レート (円)	USドル	110	△1	その他		403	2.2%
	ユーロ	130	0	合 計		1,617	△0.9%

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を行うことは控えるようお願いいたします。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	395,863	464,947
受取手形及び売掛金	221,532	219,341
有価証券	219,300	210,300
たな卸資産	399,787	379,225
その他	125,956	116,337
貸倒引当金	△1,028	△1,022
流動資産合計	1,361,410	1,389,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	196,806	196,033
機械装置及び運搬具（純額）	268,861	278,908
土地	406,117	405,457
リース資産（純額）	5,752	5,044
その他（純額）	93,886	95,369
有形固定資産合計	971,422	980,811
無形固定資産	35,862	35,669
投資その他の資産		
投資有価証券	210,605	196,769
退職給付に係る資産	3,798	4,012
その他	141,665	139,083
貸倒引当金	△670	△667
投資その他の資産合計	355,398	339,197
固定資産合計	1,362,682	1,355,677
資産合計	2,724,092	2,744,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,589	358,569
短期借入金	101,844	96,342
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	74,121	31,190
リース債務	2,420	2,265
未払法人税等	15,567	15,023
未払費用	203,396	209,517
製品保証引当金	104,435	107,509
その他	76,892	71,443
流動負債合計	996,264	911,858
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	265,653	375,840
リース債務	3,855	3,241
再評価に係る繰延税金負債	64,553	64,553
関係会社事業損失引当金	821	933
退職給付に係る負債	67,287	64,388
その他	56,189	60,201
固定負債合計	508,358	599,156
負債合計	1,504,622	1,511,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	283,957	283,957
資本剰余金	264,910	264,913
利益剰余金	536,856	548,184
自己株式	△2,230	△2,214
株主資本合計	1,083,493	1,094,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,786	9,162
繰延ヘッジ損益	305	△348
土地再評価差額金	145,574	145,574
為替換算調整勘定	△28,576	△28,942
退職給付に係る調整累計額	△16,657	△15,694
その他の包括利益累計額合計	109,432	109,752
新株予約権	183	255
非支配株主持分	26,362	28,944
純資産合計	1,219,470	1,233,791
負債純資産合計	2,724,092	2,744,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	1,656,627	1,729,088
売上原価	1,263,259	1,353,314
売上総利益	393,368	375,774
販売費及び一般管理費	316,888	344,902
営業利益	76,480	30,872
営業外収益		
受取利息	1,759	2,234
持分法による投資利益	17,363	19,240
為替差益	5,154	3,599
その他	2,777	4,129
営業外収益合計	27,053	29,202
営業外費用		
支払利息	3,792	3,175
その他	3,276	2,378
営業外費用合計	7,068	5,553
経常利益	96,465	54,521
特別利益		
固定資産売却益	822	28
投資有価証券売却益	65	1,729
その他	12	13
特別利益合計	899	1,770
特別損失		
固定資産除売却損	1,104	2,027
減損損失	1,102	434
災害による損失	—	3,726
関係会社事業損失引当金繰入額	61	112
訴訟和解金	7,557	—
その他	120	—
特別損失合計	9,944	6,299
税金等調整前四半期純利益	87,420	49,992
法人税、住民税及び事業税	19,745	18,855
法人税等調整額	3,054	4,900
法人税等合計	22,799	23,755
四半期純利益	64,621	26,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,283	1,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,338	24,377

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	64,621	26,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,126	371
繰延ヘッジ損益	△2,308	△668
為替換算調整勘定	5,925	4,401
退職給付に係る調整額	1,294	947
持分法適用会社に対する持分相当額	84	△3,830
その他の包括利益合計	6,121	1,221
四半期包括利益	70,742	27,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,233	24,697
非支配株主に係る四半期包括利益	1,509	2,761

第2四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	854,572	855,997
売上原価	655,873	679,536
売上総利益	198,699	176,461
販売費及び一般管理費	162,151	178,672
営業利益又は営業損失(△)	36,548	△2,211
営業外収益		
受取利息	852	1,127
持分法による投資利益	8,463	8,420
為替差益	734	5,649
その他	1,532	2,197
営業外収益合計	11,581	17,393
営業外費用		
支払利息	1,864	1,707
その他	2,229	1,342
営業外費用合計	4,093	3,049
経常利益	44,036	12,133
特別利益		
固定資産売却益	327	17
収用補償金	—	13
その他	27	1
特別利益合計	354	31
特別損失		
固定資産除売却損	722	1,378
減損損失	228	28
災害による損失	—	3,726
関係会社事業損失引当金繰入額	28	44
訴訟和解金	6,401	—
その他	120	—
特別損失合計	7,499	5,176
税金等調整前四半期純利益	36,891	6,988
法人税、住民税及び事業税	8,530	8,835
法人税等調整額	1,340	△6,973
法人税等合計	9,870	1,862
四半期純利益	27,021	5,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	287	1,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,734	3,743

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	27,021	5,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	661	△1,157
繰延ヘッジ損益	964	△616
為替換算調整勘定	4,569	5,436
退職給付に係る調整額	736	554
持分法適用会社に対する持分相当額	991	△2,011
その他の包括利益合計	7,921	2,206
四半期包括利益	34,942	7,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,464	5,477
非支配株主に係る四半期包括利益	478	1,855

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,420	49,992
減価償却費	43,090	43,637
減損損失	1,102	434
貸倒引当金の増減額(△は減少)	64	△48
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△19,033	3,074
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	61	112
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,685	△1,513
受取利息及び受取配当金	△2,025	△3,401
支払利息	3,792	3,175
持分法による投資損益(△は益)	△17,363	△19,240
有形固定資産除売却損益(△は益)	282	1,986
投資有価証券売却損益(△は益)	△47	△1,729
売上債権の増減額(△は増加)	6,883	7,032
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,856	26,680
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,974	16,661
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,717	△61,890
その他の流動負債の増減額(△は減少)	16,604	2,843
その他	△9,973	△11,314
小計	81,625	56,491
利息及び配当金の受取額	27,577	29,485
利息の支払額	△4,619	△3,270
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△15,365	△22,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,218	60,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△220	9,354
投資有価証券の取得による支出	△556	△8
投資有価証券の売却及び償還による収入	643	2,712
有形固定資産の取得による支出	△50,162	△44,944
有形固定資産の売却による収入	2,097	1,854
無形固定資産の取得による支出	△5,349	△4,474
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	4
長期貸付けによる支出	△123	△3,770
長期貸付金の回収による収入	91	93
その他	△1,934	△336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,513	△39,515

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,728	△7,353
長期借入れによる収入	71,595	123,740
長期借入金の返済による支出	△65,098	△60,652
セール・アンド・リースバックによる収入	98	135
リース債務の返済による支出	△1,139	△1,343
配当金の支払額	△11,956	△12,595
非支配株主への配当金の支払額	△125	△153
自己株式の純増減額 (△は増加)	3	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,350	41,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,446	6,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29,801	69,438
現金及び現金同等物の期首残高	526,864	604,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	556,665	674,292

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS(国際財務報告基準)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、IFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。なお、当該会計基準の適用が当社グループの連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	475,797	563,062	332,792	284,976	1,656,627	—	1,656,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	887,881	123,061	7,924	29,112	1,047,978	△1,047,978	—
計	1,363,678	686,123	340,716	314,088	2,704,605	△1,047,978	1,656,627
セグメント利益	50,552	12,724	3,630	11,219	78,125	△1,645	76,480

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	524,149	562,837	332,207	309,895	1,729,088	—	1,729,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	819,436	131,885	10,938	38,874	1,001,133	△1,001,133	—
計	1,343,585	694,722	343,145	348,769	2,730,221	△1,001,133	1,729,088
セグメント利益 又は損失(△)	△20,037	22,928	6,114	12,146	21,151	9,721	30,872

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2019年3月期 第2四半期 決算参考資料 (連結)

2018年10月31日
マツダ株式会社

(単位：千台/億円)

(左肩：売上高利益率)		2018年3月期 第2四半期累計 ('17.4~'17.9)		2019年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期累計 ('18.4~'18.9)		2018年3月期 通期 ('17.4~'18.3)		2019年3月期 通期予想 ('18.4~'19.3)		
		1	%	第1四半期	第2四半期	第1四半期	第2四半期	%	%	%		
売上高	国内	1	2,835	+6.8	1,592	1,714	3,306	+16.6	6,312	+7.5	6,980	+10.6
	海外	2	13,731	+7.2	7,139	6,846	13,985	+1.8	28,428	+8.2	28,320	△0.4
	計	3	16,566	+7.1	8,731	8,560	17,291	+4.4	34,740	+8.1	35,300	+1.6
営業利益		4	765	△13.4	331	△22	309	△59.6	1,464	+16.5	700	△52.2
経常利益		5	965	+16.8	424	121	545	△43.5	1,721	+23.4	1,000	△41.9
税引前四半期(当期)純利益		6	874	+14.7	430	70	500	△42.8	1,575	+22.6	870	△44.8
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		7	633	+12.9	206	38	244	△61.5	1,121	+19.5	500	△55.4
セグメント(所在地)別営業利益												
	日本	8	506		72	△272	△200		816			
	北米	9	127		131	98	229		270			
	欧州	10	36		18	43	61		87			
	その他の地域	11	112		58	63	121		254			
営業利益変動要因												
	台数・車種構成	12			△60	△105	△165				△206	
	為替	13			△25	△62	△87				△333	
	コスト改善	14			+66	+51	+117				+190	
	研究開発費	15			+17	+5	+22				△20	
	その他の	16			△66	△277	△343				△395	
	計	17			△68	△388	△456				△764	
為替レート(円)	USドル	18	111		109	111	110		111		110	
	ユーロ	19	126		130	130	130		130		130	
設備投資		20	466		161	217	378		1,041		1,350	
減価償却費		21	431		217	219	436		870		900	
研究開発費		22	657		334	301	635		1,360		1,380	
総資産		23	25,837		27,857		27,448		27,241			
自己資本		24	10,967		11,991		12,046		11,929			
有利子負債残高		25	4,979		5,599		5,589		4,979			
ネット・キャッシュ		26	587		763		1,154		1,070			
フリー・キャッシュ・フロー		27	337		△160	372	212		478			
グローバル販売台数	日本	28	96	+4.0	49	54	103	+6.7	210	+3.8	216	+2.9
	北米	29	219	△2.5	116	106	222	+1.6	435	+1.5	434	△0.3
	欧州	30	132	△1.6	67	68	135	+2.4	269	+2.6	270	+0.4
	中国	31	149	+11.9	68	65	133	△10.6	322	+10.5	294	△8.8
	その他の	32	187	△1.9	103	100	202	+8.5	394	+5.3	403	+2.2
	計	33	783	+1.0	403	392	796	+1.7	1,631	+4.6	1,617	△0.9
連結出荷台数	日本	34	90	+3.0	49	52	101	+11.3	199	+3.2	211	+6.5
	北米	35	215	+1.1	118	101	219	+1.8	423	△0.7	431	+1.7
	欧州	36	132	+0.7	61	68	129	△2.7	266	+4.2	262	△1.4
	その他の	37	174	△8.4	98	97	195	+11.7	386	△1.4	397	+2.7
	計	38	611	△1.6	325	318	642	+5.1	1,274	+0.7	1,301	+2.1
グローバル生産台数	国内	39	468	△0.1	258	204	461	△1.4	987	+2.3	995	+0.9
	海外	40	300	+3.4	156	139	295	△1.5	633	+0.9		
	計	41	768	+1.3	414	343	757	△1.4	1,620	+1.7		

※ 総資産 : 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間から適用しており、2018年3月期の第2四半期及び通期の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

※ グローバル販売台数 : マツダブランド名で販売される全世界小売台数です。

※ 連結出荷台数 : 他社ブランドで販売される車両の台数を含めておりません。

※ グローバル生産台数 : 国内工場とメキシコ工場で生産される台数(他社ブランド含む)に加え、その他海外工場(主に中国、タイ)においてマツダブランド名で生産される台数です。